

給水装置工事施行基準 新旧対照表

給水装置工事施行基準を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後				改正前			
第3章 給水装置の施工				第3章 給水装置の施工			
略				略			
表-3.1.1 1次側の使用材料				表-3.1.1 1次側の使用材料			
(1) 給水管				(1) 給水管			
略				略			
(2) 継手				(2) 継手			
種類	接合形式	使用口径	規格番号	種類	接合形式	使用口径	規格番号
水道用ダクタイル鋳鉄管 (D I P)	G X形	75~300	JWWA G 121	水道用ダクタイル鋳鉄管 (D I P)	G X形	75~300	JWWA G 121
	K形		JWWA G 114		K形		JWWA G 114
	メカニカル形		企業長が指定するもの		メカニカル形		企業長が指定するもの
水道配水用ポリエチレン管 (H P P E)	融着形	50~150	JWWA K 145	水道配水用ポリエチレン管 (H P P E)	融着形	50~150	JWWA K 145
	メカニカル形		企業長が指定するもの		メカニカル形		企業長が指定するもの
水道用ポリエチレン二層管 (1種二層管) (P P)	メカニカル形	20~50	WSA B 012 企業長が指定するもの	水道用ポリエチレン二層管 (1種二層管) (P P)	メカニカル形	20~50	WSA B 012 企業長が指定するもの
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P-V B、V D)	メカニカル形	20A~50A	企業長が指定するもの	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P-V B、V D)	メカニカル形	20A~50A	企業長が指定するもの
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P-P B、P D)	メカニカル形	20A~50A	企業長が指定するもの	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P-P B、P D)	メカニカル形	20A~50A	企業長が指定するもの
水道用ステンレス鋼管 (S S P)	伸縮可とう式	20~50	JWWA G 116	水道用ステンレス鋼管 (S S P)	伸縮可とう式	20~50	JWWA G 116
	プレス式				プレス式		
水道用波状ステンレス鋼管 (C S S T)	伸縮可とう式	20~50	JWWA G 116	水道用波状ステンレス鋼管 (C S S T)	伸縮可とう式	20~50	JWWA G 116
	プレス式				プレス式		
<p>※1) P P及びS G P継手 (メカニカル形) には、ねじ込み型離脱防止継手を含む。</p> <p>※2) P P継手 (メカニカル形) は、コア一体型継手、ねじ込み型離脱防止継手とする。</p> <p>※3) 既設管の修繕時等に限り使用を認めるH I V Pの接合は、メカニカル継手 (ねじ込み型離脱防止継手を含む) を使用すること。ただし、企業長が特に認める場合に限り、接着型 (T S) での施工を認める。</p> <p>※4) S S P及びC S S T継手 (プレス式) については、モルコジョイントを使用する。</p>				<p>※1) P P及びS G P継手 (メカニカル形) には、ねじ込み型離脱防止継手を含む。</p> <p>※2) P P継手 (メカニカル形) は、コア一体型継手、ねじ込み型離脱防止継手とする。<u>ただし、分止水栓及びメーター用にはコア一体型継手を使用すること。</u></p> <p>※3) 既設管の修繕時等に限り使用を認めるH I V Pの接合は、メカニカル継手 (ねじ込み型離脱防止継手を含む) を使用すること。ただし、企業長が特に認める場合に限り、接着型 (T S) での施工を認める。</p> <p>※4) S S P及びC S S T継手 (プレス式) については、モルコジョイントを使用する。</p>			